



4月6日 鳴沢小学校入学式

新型コロナウイルス感染予防の為、全員マスクをしての入学式となりましたが、みんな元気に新たな門出を迎えました。

2020
No.40

令和2年5月1日発行

3月定例会

- 令和2年度当初予算を可決 一般会計 前年度比0.5%増 P2~3
- 新年度 議会が注目する事業はこれだ!! P4~5
- 当初予算をチェック! P6~7
- 3月定例会で決まったこと P8~9
- 一般質問 村政を問う!! P10~12
- 議会だよりモニターを募集します! P12
- 委員会活動 P13
- 村民の声「鳴沢村応援キッチンカーを全国へ!」 P14

道の駅なるさわ基本構想を策定

3月定例会 会期：3月12日～19日（8日間）

今定例会では、令和2年度の事業と予算を決定する当初予算をはじめ、平成31年度補正予算、各種条例改正案件、人事案件など合計18議案が提出され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

今定例会は、新型コロナウイルス感染予防対策として出席者全員がマスク着用、手指アルコール消毒の徹底などの予防措置をとった上で開催されました。

初日の本会議では、本年2月に村政史上初の4選を果たした小林優村長が村長就任の挨拶並びに所信表明をされました。

当初予算の審議では、議会からも昨年度に要望書を提出していた、道の駅なるさわ改善のための基本構想の策定や保育所駐車場の排水対策工事、そのほか一本木のポケット公園整備やハイブリッド式非常用発電機購入費、ふるさと納税を活

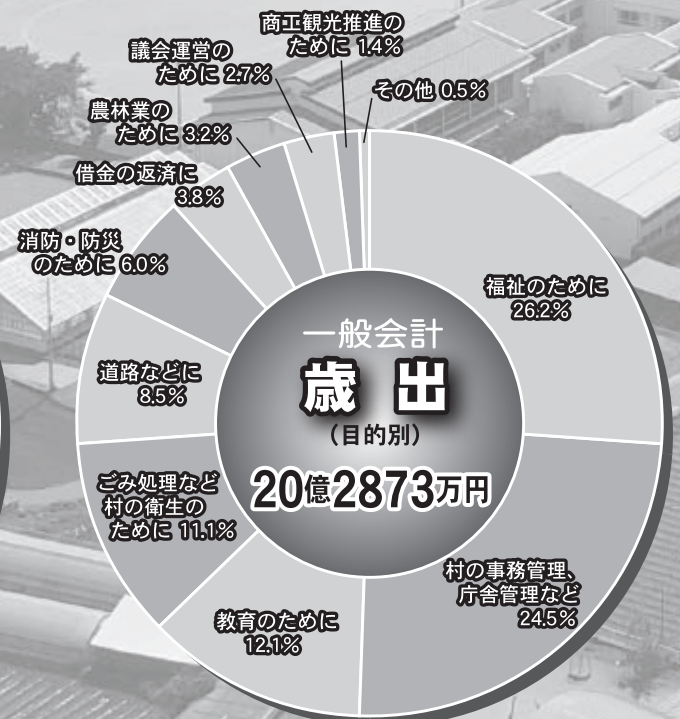
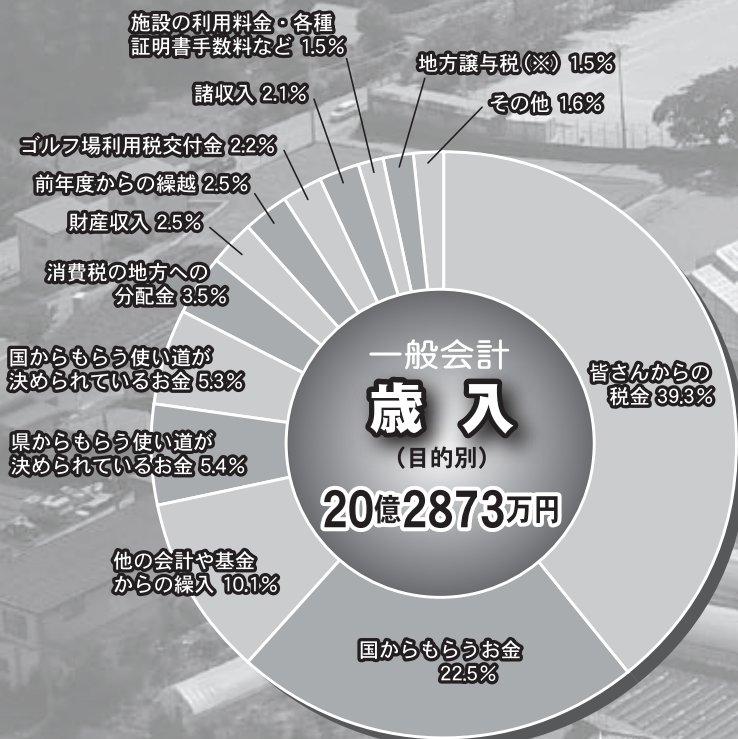
用した電子黒板等の購入費などが可決されました。（詳細P4～5）

最終日には一般質問に5名の議員が登壇し、通学路への防犯カメラ設置や別荘地域の災害時避難方法、また、新型コロナウイルスの影響を受けている事業者等へ支援策など、様々な角度から村の姿勢を問い質しました。（詳細P11～13）

また、最終日の本会議終了後に議員協議会を開催し、新型コロナウイルス感染症により業況悪化などの影響を受けている事業者や、解雇などを余儀なくされた方への支援策について協議を行い、後日村長へ提言書を提出いたしました。



所信表明する小林優村長



※地方譲与税

国税として徴収した特定の税目の収入の全額又は一部を、地方公共団体に譲与するもの。

令和2年度 当初予算を

可決

総額28億4164万円

のむらづくり

(万円未満四捨五入)

一般会計 20億 2873万円

特別会計 8億 1291万円

前年度比 0.5% (902万円) 増

前年度比 5.0% (3880万円) 増

一般会計のおもな歳入

- ◆村 税 7億9639万円
- ◆地方交付税 4億5616万円
- ◆県支出金 1億937万円
- ◆国庫支出金 1億676万円

一般会計のおもな歳出

- ◆村道改良事業 7948万円
- ◆東海自然歩道一本木ポケット公園整備事業 880万円
- ◆電子黒板・タブレットPC購入 605万円
- ◆保育所駐車場舗装工事 340万円
- ◆道の駅なるさわ基本構想策定支援業務委託 219万円
(詳細P4~5)

昨年度同様、積極的に国・県支出金などの特定財源(※)を活用しています。

※特定財源

使い道が決まっている財源のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金などのこと。

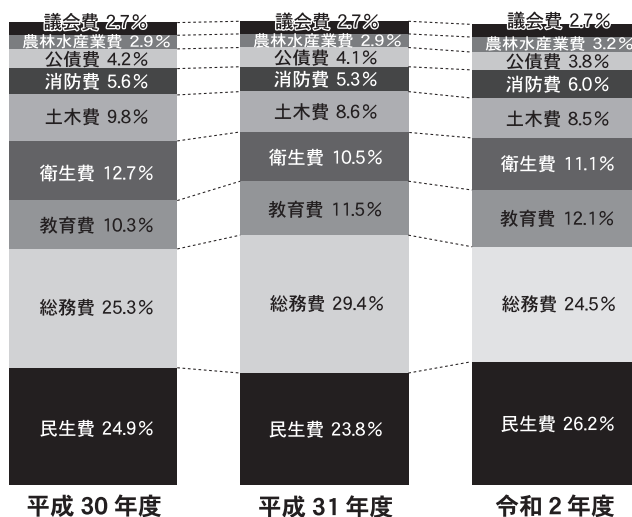
令和2年度一般会計・特別会計予算額

会計名	予算額	増減率 (前年度比)
一般会計	20億 2873万 1千円	0.5%
特別会計	国民健康保険	4億 37万 7千円 △1.3%
	簡易水道事業	8872万 9千円 13.5%
	介護保険	2億 7547万円 12.9%
	介護予防支援事業	95万 7千円 7.2%
	後期高齢者医療	4737万 5千円 4.7%
合計	28億 4163万 9千円	1.7%

一般会計予算の推移



※数値が低いため拡大してあります。



予算推移の分析

一般会計の支出分類からみると、民生費の占める割合は依然として高く、自立支援給付(※)助成事業費の増加などで前年度よりも増額となり、福祉・医療費に大きな予算が見込まれています。

また、商工費や消防費についても、東海自然歩道一本木ポケット公園整備事業や消防車両(小型動力ポンプ付積載車)購入などにより増額となっております。

一方で総務費は、パソコン機器の更新作業が完了したことなどにより、大幅な減少となりました。

※自立支援給付

障害者総合支援法に基づき、利用するサービス費用の一部を障害のある方へ個別に給付するもの。

新年度

議会が注目する事業はこれだ!!

令和2年度予算に盛り込まれた注目事業を一部取り上げました。

道の駅なるさわから
富士山を望む



道の駅なるさわ 基本構想を策定

219万円

平成7年に整備され24年が経過した道の駅なるさわを、地域振興の核となる施設としていくため、ニーズ調査も踏まえた長期的な計画の基礎となる基本構想が策定されます。

一本木バス停東側の
整備予定地



一本木バス停付近に ポケット公園を整備

880万円

観光客の利便性の向上のため、県の補助金(1/2補助)を活用し、足和田山登山の玄関口となっている一本木バス停付近にポケット公園が整備され、二カ国語表記の東海自然歩道総合案内看板などが設置されます。

ハイブリッド式
非常用発電機



(この画像はイメージです)

LPガス・ガソリン 140万円 併用非常用発電機を導入

県の補助金(1/2補助)を活用し、LPガスとガソリンのハイブリッド式非常用発電機3台が導入されます。

ガソリンが調達できない状況でも、プロパンガスを燃料として利用できます。

雨上がりの保育所駐車場

小学校にあったポプラ並木
(2007年撮影)



保育所駐車場の 水たまりを解消 340万円

雨が降ると大きな水たまりができ、園児や保護者の方も苦慮していた保育所の駐車場について、排水機能を改善させるための舗装工事が実施されます。

小学校の ポプラの木を後世へ 4万円

鳴沢小学校では「ポプラ祭り」「ポプラの歌」「文集ぼくら」など、高くまっすぐ伸びるポプラを教育のシンボルとしていますが、平成30年度の村道拡幅工事によりポプラの木はなくなってしまいました。

そんなポプラを後世に継承していくための記念樹として、1本植樹されることになりました。

電子黒板を使った授業

総合センター北側の
急傾斜地



ふるさと納税を 活用し電子黒板を新規購入 605万円

ICTを活用した学習環境を整備するため、ふるさと応援寄附基金(※)を活用して電子黒板と教師用のタブレットPC各7台を新規に購入します。

総合センター裏山の 急傾斜地対策に着手 50万円

放課後児童施設や避難所としても活用されている総合センターの北側急傾斜地について、県が事業主体となり崩壊対策工事の実施が予定されており、村でも事業費を一部負担いたします。

(工事は令和4年度から実施予定となっております。)

※ふるさと応援寄附基金…村の様々な施策・事業に有効活用する財源として、ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)を積み立てている基金。
上記以外にも今年度は、地域活性化補助金や融雪剤散布車の更新などに活用される予定。

当初予算をチェック!

おもな議論を紹介します

予算決算常任委員会

委員長 佐藤 博 水

予算決算常任委員会に付託された令和2年度当初予算案について、3月17.18日に委員会を開催し審査した結

果、いずれも賛成全員にて原案のとおり可決すべきものと決しました。

固定資産税の地区ごとの内訳

問 土屋文明 固定資産税収入について、各地区ごとの件数及び課税額の内訳はどのようになっているか。

答 税務課長 明確な区分けはできないため、あくまでも簡易的な区分けによる目安ではあるが、下記のとおり。

- ・鳴沢地区
9299筆 税額 約3900万円 割合18%
- ・大田和地区
5991筆 税額 約3300万円 割合15%
- ・別荘地区
8125筆 税額 約1億4500万円 割合67%

(土地について抜粋)

別荘地区への広報配布

問 土屋文明 別荘地区への広報の配布方法についてはどのように考えているか。

答 企画課長 現在、各管理事務所に合計149部配布しており、郵送を希望する方には郵送で送付している。不足があれば随時対応する。

問 土屋文明 第一区・第二区と同様の報償費を予算計上し管理事務所に配布してもらう方法や、割安な第3種郵便での郵送などを検討してみてはどうか。

答 企画課長 各管理事務所の都合もあると思われ実現できるかわからないが、報償費も提案した上でそのような要請もしてみたいと思う。郵送については、比較検討して最も安価だったゆうメールを活用している。

消防団員への防塵マスク支給

問 渡辺正人 本年1月に発生したリサイクル業者の火災では、ダイオキシンの発生による消防団員の健康被害が懸念されたが、消防団員に対し防塵マスクなどを支給する考えは。

答 総務課長 基本的には、常備消防である富士五湖消防本部がまず現場へ到着し、万が一有害物質がある場合は、消防団は待避して危険箇所に入らないように署員から指示しているようである。今後このような火災が続くようであれば、消防団へのマスク等の配備も必要になるかと思う。

相続放棄物件の固定資産税

問 渡辺次男 相続放棄により納税義務者がいない物件が増加しているとのことだが、対応策は。

答 税務課長 このような物件は相続財産管理人を選任する必要があるが、費用が50～60万円ほどかかる。仮に選任した場合、競売等で売却できればよいが、できなければ村の負担で終わってしまう。現在ある13件を全て調査したところ、売却等の目星が付きそうな物件が2～3件あったので、近隣不動産業者等にも話を聞き、今後処理を検討していきたい。

虐待防止等対策地域連絡協議会

問 三浦直樹 鳴沢村虐待防止等対策地域連絡協議会の構成員及び内容は。

答 福祉保健課長 毎年実施しているものがあるが、村長、教育長、議員、社会福祉協議会、保育所・学校関係者など23名が構成員となっており、子どもと高齢者の虐待防止について協議を行っている。

人間ドックの助成、予約受付

問 渡邊明雄 平成30年度より社会保険加入者は村の人間ドック助成の対象外となったが、それにより健診等を受けられなくなった方もいるようである。その点についての見解は。

答 住民課長 特定健診の実施義務は各保険者にあるため、社会保険の方は社会保険者が予算措置して実施することとなる。法律に基づき、村で予算措置する助成対象者を適正に改めたものである。

問 渡邊明雄 助成はできないとしても、村で予約受付のみ対応してもらうことは可能か。

答 福祉保健課長 国保や後期高齢者医療保険の方の受付後に予約の空きがあれば可能かと思うが、今後検討させていただきたい。

答 村長 厚生連での人間ドックについては、JAの関連施設であるので村よりもJAを通して予約していただくのが望ましい。

水道水の安全な供給

問 三浦直樹 水道水の滅菌処理について、塩素は分量などを誤ると毒にもなってしまうが、塩素滅菌処理作業を専門業者に委託できるか。

答 振興課長 塩素は役場職員ではなく納入業者が分量を確認しながら投入しており、担当職員が水道管路の末端の方で塩素濃度を測定し、必要に応じて調整をしている。

国民健康保険税の徴収対策

問 三浦雄一郎 国民健康保険税の徴収率が減少傾向にあるとのことだが、どのような対策を考えているか。

答 住民課長 滞納者・未納者を抽出し、電話や文書で納税勧奨を行っている。村税も滞納となっている者については、税務課と連携をとって対応している。本年2月より自宅等へ何う臨戸徴収も予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため実施を中止した。

三世代同居支援事業(※)

問 渡邊明雄 三世代同居支援事業について、同居でなくても村内に居住するというのであれば、住宅取得や改修費用の補助を受けられるのか。

答 福祉保健課長 住宅の取得費用については、同居でなくても近隣に居住であれば補助対象となるが、改修については同居していることが必要となる。

※三世代同居支援事業

子育て環境の向上、高齢者の孤立防止、定住人口の増加などを目的として、三世代同居・近居を推進するために住宅取得費や改修費を補助する事業。

小学校のプログラミング授業

問 小林昭一 小学校のプログラミング授業はどのような態勢で行われるのか。

答 教育課長 教員も専門研修等を受けて勉強し、指導にあたることになるが、サポートとして、パソコンを使用した授業を支援するICT支援員を派遣し、授業に向けての教員の準備指導や、授業に入って直接サポートするなど、手厚い支援態勢をとっている。

21件の質疑がありましたが、その内10件を掲載しています。

村当局には、厳しい財政状況のなか創意工夫をこらし、審査の過程で委員より出された質疑・意見を予算執行に

活かし、令和2年度も健全な財政運営を行うよう求めました。